



0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 1 2 3 4 5 6 7 8 9 20 1 2 3 4 5 6 7 8 9 30 1

曾我物語卷第四目錄



一

十郎（アラシロ）さん（サン）じ（ジ）たる

もとヨリ（モトヨリ）もとおのり（モトオノリ）あり

くらう（クラウ）ね（ネ）のまのまん（マニン）いのる

もとヨリ（モトヨリ）すけ（スケ）つよあひ（アヒ）き

えん（エン）たん（タン）じ（ジ）うま

もとヨリ（モトヨリ）そご（ソゴ）くわく（クワク）事

もとヨリ（モトヨリ）うぐ（ウグ）ん（ン）くわく（クワク）事

もれん（モレン）ん（ン）くわく（クワク）事

小びやか（コビヤカ）かくしめ（カクシメ）事

たりもの（タリモノ）もひもひもひもひも

まよひもひもひもひもひもひも

十一
十
九
八
七
六
五
四
三
二
一

四正
5371
4

苗栗縣志

三

十一

もすれと主とよびせてもうひ
らゆのあわせにかわらや
きとまくらしをくわらえ
てゆきとよしとよしとよし
もよのゆらぎをくわらえ
くわらえのゆらぎをくわら
めのあくさんをくわらえ

十二

み
れ
か
う
ひ
く
ま
と
う
そ
う
い
ゆ
う





事
月とれひすもそゆくあり付る
王とちうすばんともすをすあらまつてし
とまつまかとどもいそわからりりのレ
あすきとれすあくわくとわくとくとく
おにとくひのあうあくとくひもくとく
タクタクとくとくとくとくとくとく
ひくとくとくとくとくとくとくとく
タクタクとくとくとくとくとくとく



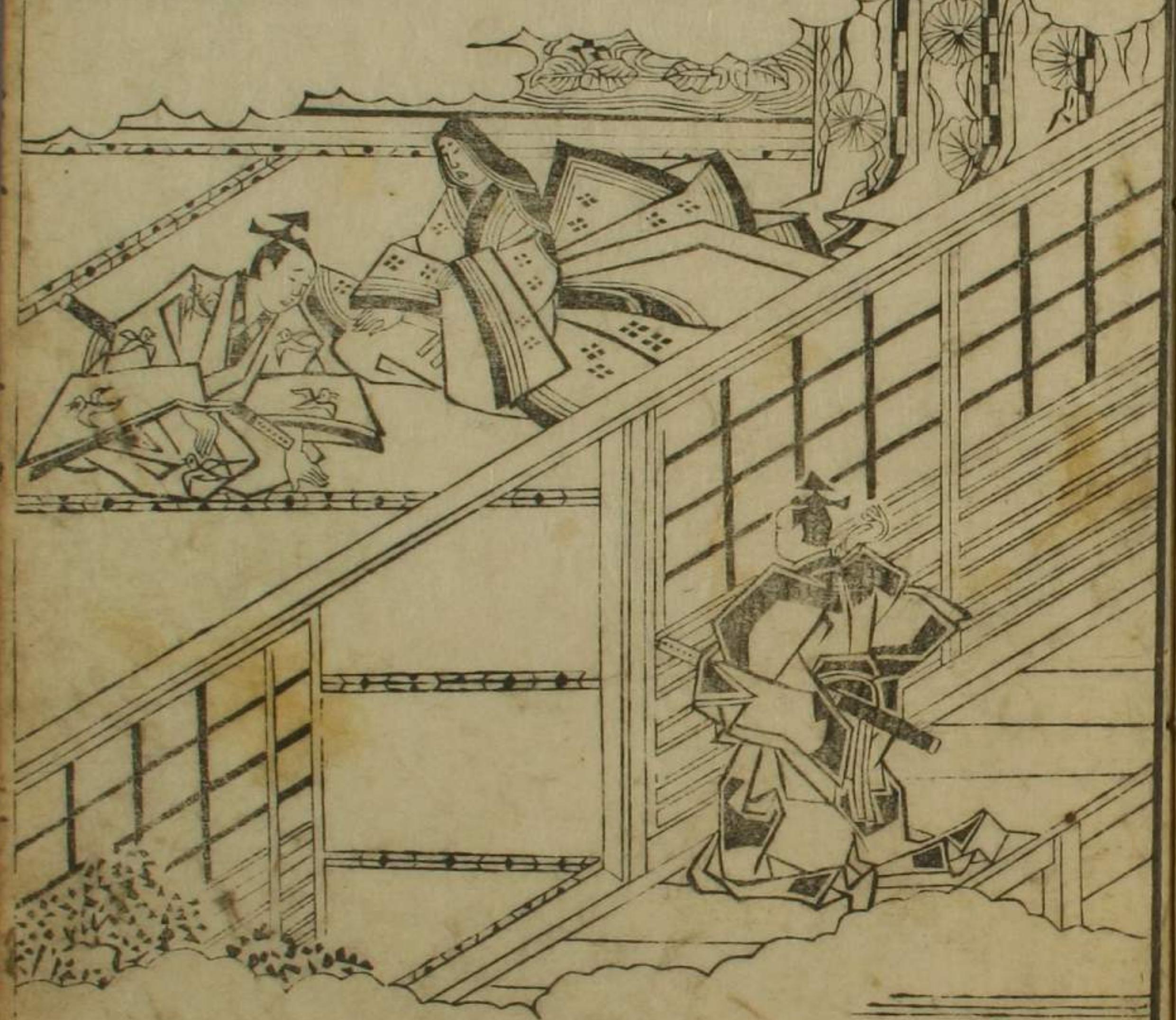
八

まくわらひをかくすかまく

卷之四

十一





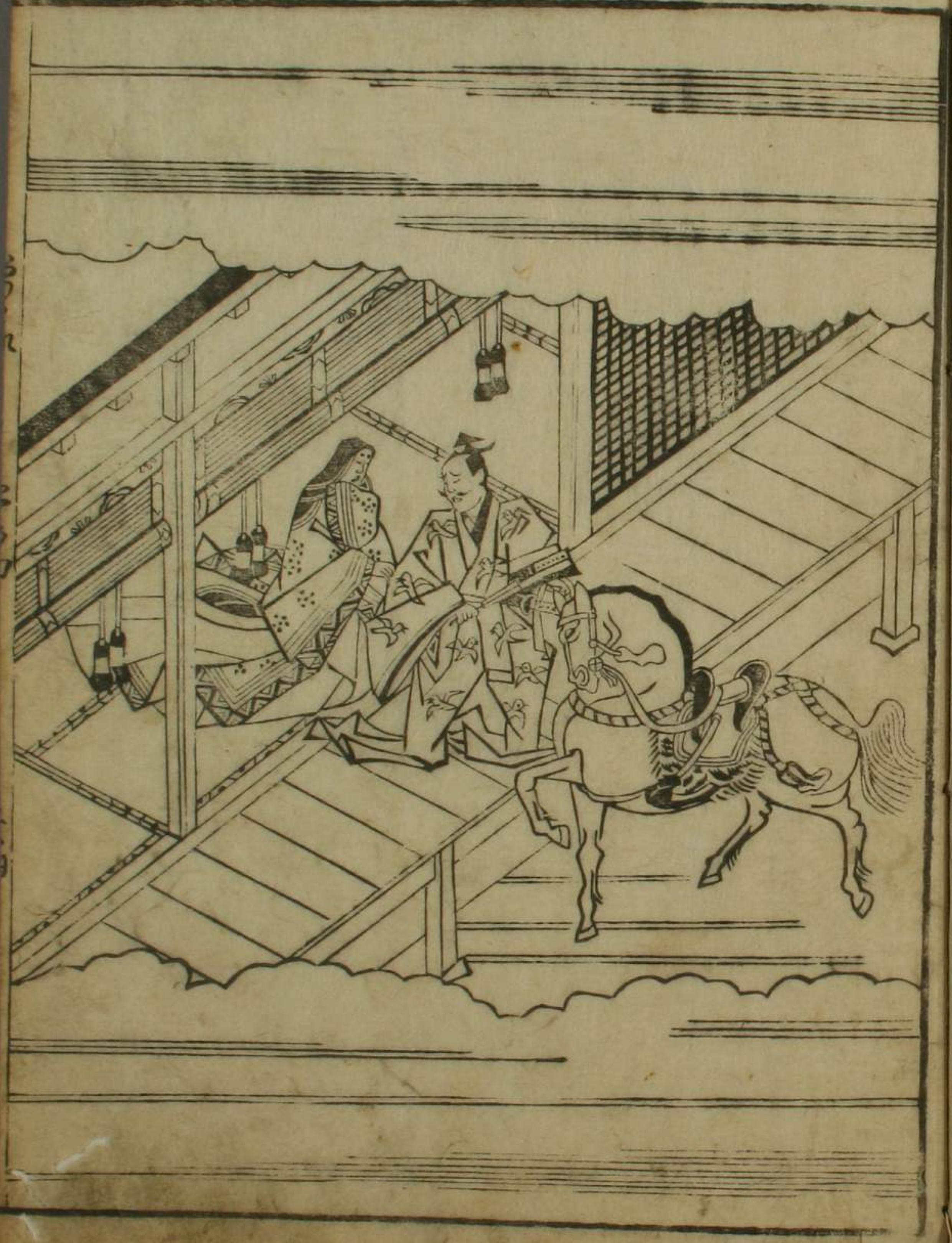
10

十
たつそれとひも
はまくとくじやめとくまくとく
のむともあらとつひてすもいよあらまく
ももひもあてひそうにそをもかひけもやあれ
もちやひきれをもあひも
んもひかせとくまく
んもひかせおほとく
ももひかせおほとく

もとをさへせんむしもあきらめかわり付くに
あらのまづがひらうぬくとまづもひそんす
まきびりうあくやかくすよつてひきうがく
らうくもゆをねんらいもてきうもひそんす
あまがくもあひくとまづらうくもゆをねん
ひまなもあらあひくとまづのくにゆく
きくらうとまちかくわゆをくねんらうく
くゆくあゆきとれもくとくとくとくとく
もだにゆくあくとくとくとくとくとくとく
もうとくとくとくとくとくとくとくとくとく
にゆくとくとくとくとくとくとくとくとくとく
あまくとくとくとくとくとくとくとくとくとく

十一

十三



十三

ものかと思ふとあつたが、それもまた
とくちうかれてまわるよ。だれがみ
きかのまへんあらうをひらきぬわからん
はづくがまへんあらうをひらきぬわからん

曾子曰吾日三省吾身

